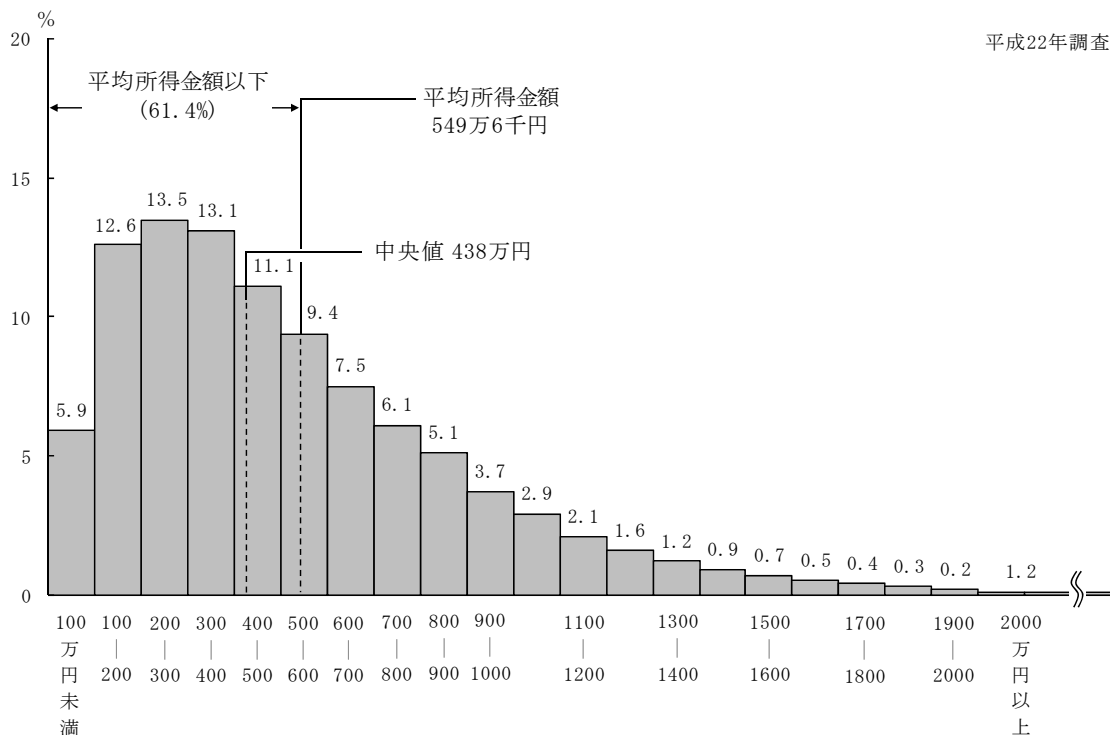


2 所得の分布状況

所得金額階級別に世帯数の相対度数分布をみると、「200～300万円未満」が 13.5%、「300～400万円未満」が 13.1%と多くなっている。

中央値（所得を低いものから高いものへと順に並べて2等分する境界値）は 438万円であり、平均所得金額（549万6千円）以下の割合は 61.4%となっている。（図14）

図14 所得金額階級別にみた世帯数の相対度数分布



「平均所得金額以下」の世帯について、所得金額階級別に累積度数分布をみると、「500万円未満」は 56.3%となっており、平成13年以降、5割を超えている（図15）。

図15 平均所得金額以下の世帯の所得金額階級別にみた累積度数分布

